

1. 開催年月日 平成28年5月20日(金) 13時30分～15時00分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目90番地
株式会社ケーブルテレビ可児 会議室
3. 出席委員数 6名(欠席2名)
4. 事業者側出席者数 3名
5. 議題
 1. 番組試聴および審議
 2. 放送番組全般について

6. 審議内容

次の番組を聴取し、審議した。

5月7日(土) 12:00～
生放送「RArara キッズ演奏会特番」
パーソナリティ：洞口純子、坂崎光、川合登志和
場所：ラスパ御嵩 ラスパコート特設ステージ(サテライトブース)

- ・演奏の音がすごくきれいに録れている。ピアノ演奏は子どもの指のタッチの雰囲気まで伝わってきて臨場感があった。
- ・子どもへのインタビューは、年齢的にこれ以上突っ込むのは難しいので、余裕があれば保護者の方などがそばにいて助け船を出すとか、一言いただくなどすると場が盛り上がり、より子どもたちの日常がわかると思う。
- ・出演者をよく10組も集めてきたなあと感心した。
- ・子どもへのインタビューは大変だと思っていたが、子どもたちがしっかりインタビューに答えていたので、参加した子どもたちがすごいのか、段取りがしっかりしていたのか、上手に運んでいたなと感じた。
- ・パーソナリティの皆さんの目線が優しく、威圧感を感じさせなかったため、子どもが気持ちを楽に話せたのではと想像できる。
- ・とても良い番組だと思う。このような発表の場があるのは良いですね。放送を聴き逃した人でもわかるように、ホームページでも、イベントの内容や出演者の情報を掲載すると良いのではないかと。せつかくの活躍の場なので、ぜひもっとスポットを当ててほしい。演奏もとても上手ですごいなと思って聴いていた。演奏後にららのジングルが入るのは合わないと感じた。

2. 放送番組全般について

- ・「モコモコグラフィティ」のゆーこさんの話し方が聴きやすく安心感があり、もっと聴いていたかった。
- ・定住自立圏関係広報番組がほのぼのしていて親近感がわいて良い。
- ・ある番組でゲストが突然生歌で歌うところがあり、途中からその部分だけ聴いたので背景がわからず戸惑った。

- ・最近、パーソナリティのみなさんそれぞれの持ち味が良い意味で魅力的になってきている。リスナーさんからの支持の声も多く寄せられているようです。
- ・「ようこそ市長室へ」は、台本があるとしてもインタビュアーに「はい」「ええ」や笑い声など相づちがほしい回があった。担当している吉田聖恵さんは明瞭な発声で聴きやすく、とちりの少ない方で天性のものを持っていると感心している。
- ・パーソナリティの北原さとみさんは、ゲストを迎えた時は話しやすい間をとって上手いなと思っているが、最後に愛称のみで紹介するのはわかりづらいため、「(フルネーム) さんでした」というように、きちんと紹介すると良い。
- ・「アラフォー主婦のマンマミーア」でタイムリーな電力自由化問題を取り上げており、誰もが不安を感じているなかで素朴な疑問をあえて取り上げ、パーソナリティの持ち味を生かして、その立場になって調べてきたことを話しており、とてもありがたいと思った。
- ・ある女性ゲストが、印象のよくない若者言葉で話していたのが気になった。馴れ合いのような会話は、ひとつ線を引いてお話ししていただきたい。
- ・音楽はされど、人のおしゃべりは面白いと聴き入ってしまうので、聴き手がのめり込んでしまうようなトークがあるといいと思う。FMららは地域の放送局としてこれからも大きく育ってほしいと思うので、地域の方が出演できるような番組づくりを増やしていただければ。市民の皆さんはそれぞれの活動を発信したいと思っているが、手段を持ち合わせていないので、ラジオを活用することは大きな意義がある。そうした番組づくりも応援していきたい。
- ・最新番組表を見て、当初と比べ充実したなと感じた。パッと見た印象がとても良い。
- ・この1カ月の間に、可児市内でららステッカーを貼っている車をいくつか見かけた。一般の方にFMららが浸透してきていると感じた。

以上の意見が出され、全員承知した。